

令和元年 12 月第 15 回定例会

令和元年 12 月 12 日

維新の会 久 保 高 章

1. 施策評価結果作成における事務事業シートの役割と
新地方公会計制度の活用について

維新の会の久保高章でございます。第 15 回定例会におきまして質問の機会を与えていただきましたことに感謝申し上げます。

先輩、同僚議員の皆様におかれましては、しばらくの間ご清聴の程、宜しく願い申し上げます。

それでは質問に入ります。

★施策評価結果作成における事務事業シートの役割と新地方公会計の活用について伺ってまいります。昨年度に事務事業シートの形骸化を指摘させて頂き、平成 30 年度決算審査において施策評価結果と事務事業シート作成において大きく 2 点変更されました。1 点目は、これまで事務事業シートと施策評価結果が並行して作成されていたのを、まずは事務事業シートを行いその後、施策評価結果そして再び事務事業シートを完成させる形を取られています。2 点目は、市の裁量のある事業の評価表の作成については限定し、又、事業の継続、見直しという一つ一つの事業に対する総合評価も廃止され、予算編成の中で検討していく形となりました。

ここでお伺い致します。施策評価結果の作成目的は何であり何を基に作成されているのでしょうか。お答え下さい。

以上で、1 問目の質問を終了いたします。2 問目からは一問一答にて行います。

1-① ここでお伺い致します。施策評価表の作成目的は何であり何を基に作成されているのでしょうか。お答え下さい。

1-② 決算審査の重要資料となる施策評価結果は、いくつかの事業で構成されています。しかし、その施策の展開方向に対する各事業の寄与度が明確になっていないですが、如何でしょうか。

1-③ 各施策の傘下の事業において、拡充、継続、見直し、廃止等の判断はどの部分で判断すればいいのでしょうか。

1-④ 施策評価結果の基となり事業を改善していく為に事務事業シートを作成しているにもかかわらず、今回から総合評価がなくなり、さらに、結果に対する次年度の取組方針を無くしたことが非常に疑問です。各事業の結果、成果に対するチェック（評価）とアクション(改善)が出来ていないと考えます。各事業の費用対効果並びに次年度取組を明確にするためにも評価と改善は事務事業シートに明記すべきと考えますが如何でしょうか。

1-④-1 決算審査にあたり、事務事業シートを精緻に作成して欲しいがどうか。

1-⑤ そもそも基礎となる全事業に関して詳細な検証が出来ているのでしょうか。

各事業の集合が施策評価結果であるのに、各事業の評価ができていない、つまり施策評価結果も正しく評価できていないと同義ではないのでしょうか。

⑥ 削除

1-⑦ では、費用対効果についてお伺い致します。地方自治法に最小の経費で最大の効果とあります。事務事業シートにフルコストが記載されていない中で、最小の経費はどのように算出しますか。お答え下さい。

1-⑧ では、新地方公会計について伺います。この新地方公会計制度については昨年9月、12月議会及び今年9月にも質問させて頂きました。今回で4度目の質問となり

ます。この新地方公会計を活用すれば、現行の56年間行われてきた官庁会計とは違う事務事業シート、施策評価結果作成が可能であり決算審査においても「財務情報をわかりやすく開示することで説明責任の履行を果たせること」や「財政運営や政策形成を行う上での基礎資料等に活用することで財政の効率化や適正化に資すること」ができるとの考えから再度質問させていただきます。平成30年度の一般会計等財務書類は、例年の当該年度末の3月から約5ヵ月早く10月に完成されそのご努力に感謝いたします。

しかし、現状は減価償却等のストック分析のみに活用されており、本来の目的は達成されていません。すなわち市民の皆様や議会に対して財務諸表を活用し、課別・事業別・施設別等の財政情報をわかりやすく公表し、又、それらセグメントごとの類似他都市との比較分析に活用されていませんが如何でしょうか。

1-⑨ 10月に作成した、平成30年度の一般会計等全般の財務4表を次年度予算に対してストック分析以外でどのように活用するのでしょうか。又、現在、事業のフルコストは把握されていますか。

1-⑨-1 セグメント分析は、施設のみで課別、事業別は行わないのか。

1-⑨-2 課別、事業別は必要ないのか。

1-⑩ 事業のフルコストは必要ないですか。

1-⑪ 先日、東京都町田市に新地方公会計制度の活用について視察に行ってきました。町田市においては、課別行政評価シート107事業、事業別行政評価シート128事業、会計別行政評価シート3事業、合計238事業の行政評価シートを作成されています。そのシートの記載内容は、資料をご覧ください。資料1は、課別行政評価シート、資料2は事業別行政評価シートとなっています。詳細についてはご清覧頂ければと思います。このシートで一番重要なことは課や事業の目的から始まり成果、結果に対してPL（行政コスト計算書）BS（貸借対照表）を活用し人、物、金、全ての分析を行い、PDCAを精緻に回しています。ですから、人件費、物件費に加え今まで見えなかった経費全て（フルコスト）が明記され費用対効果が多様な指標やグラフを用いてわかりやすく解説されています。町田市では、この行政評価シートを用いて決算審査を行っています。この行政評価シートこそ課別・事業別・施設別等セグメント分析そのもの

であると思うのですが、如何でしょうか。

1-⑫ 資料3では、勘定科目別比較分析（人件費や物件費）、資料4では、施設別比較分析、資料5では、同種施設比較分析表、これは市民センター6施設の行政費用や単位あたりコスト分析を行い1㎡あたりコスト（経済性）と利用者1人あたりコスト（効率性）を軸に各施設をグラフ化して分析を行っています。このグラフの左下に向かうほど経済性、効率性が高く、右上に行くほど見直しが必要であると一目瞭然となっています。この他、図書館8館も同様の分析を行っています。このようなセグメント分析を行うためには現在、本市が行っている官庁会計や市全体の財務諸表で可能なのでしょうか。

1-⑬ 課別、事業別、施設別分析及びフルコスト算出、費用対効果の明確化、そして、職員の方が財務諸表を自らのものとして考える、つまり、当事者の視点で作成するためにも日々仕訳を全職員にて行い人件費や物件費だけではない事を知る必要があると考えますが如何でしょうか。

1-⑭ 町田市の課別・事業別行政評価シートは非常にコンパクトにまとめられています。前段の施策評価結果の基になる事務事業シートもこのような形式で、フルコスト及び行政サービスの見える化を図ったうえでの結果検証に活用すれば事業のPDCAがより明確となり、それを基に施策評価結果を作成されてはいかがでしょうか。

1-⑮ 今までのやり方を大きく変えていくためには大変なエネルギーが必要だと思います。しかし、この時期にこの決断は将来より振り返った時に正しかったと思える決断ではないかと考えます。過去において、バブル崩壊が予想できず本市においても多額の借金が残ったようにあの時決断しておけばという事が多々見受けられます。現在、日々仕訳が10%程だから導入しないという答弁も頂きました。否定から入るのではなく出来る理由を探り検討実施に向けて頂きたいと考えます。
市全体に関わるので市長にお伺い致します。日々仕訳を行ったうえで、財務諸表を用いた決算審査からの予算編成についてどのようにお考えでしょうか。お答え下さい。

1-⑮-1 これは、全庁的に取組まなければなりません。その為にもやはりトップダウンで決断する必要があります。では、官庁会計と新地方公会計では、情報量や分かりやす

さでどちらが優れているとお考えか。

1-⑯ 来年6月には財務会計システムの更新を行わなくてはなりません。しかし、今からでは、検討、研究するには時間がなく現状のまま契約延長し、令和4年度から新システムを導入する予定とお聞きしています。では、将来を見据え令和4年度の新システムの導入に合わせて最善の選択を行うためにも日々仕訳か期末一括仕訳か、今回の質問を踏まえ、いずれの仕訳方法を選択するのか再度ご検討頂きたいですが、如何でしょうか。

1-⑰ 最後にまとめさせていただきます。現在、行革を徹底された結果、無駄な事業はほぼ無いと考えます。その中で、総合計画を達成するために949もの事業が行われ、それを48展開方向で俯瞰して評価されています。しかし、その基本である949事業の目的に対する成果・結果の厳格な評価が出来ていません。9月の総務分科会において持続可能な行財政基盤の確立について、PDCAサイクルの取組を強化し、各事務事業を効率的・効果的に進めることと提言しています。再度確認させてください。この提言を実現するためにも財務諸表を活用しセグメント別分析を決算審査から行い予算に反映して頂きたい。如何でしょうか。

1-⑰-1 感想をお聞きしたいが、現在、町田市では10自治体間で行政評価シートの比較分析を行い、大阪市も今年度から参画しています。そういったグループに参画し、同じ物差しで事業の比較分析を行うことをどのように思われるか。

1-完 市の政策判断の基本である施策評価結果の基となる内容が事務事業シートです。その重要な事務事業シートを精緻に分析し、かつ分かりやすくするには、課・事業・施設等のセグメント別分析、又、フルコストの把握を行う必要があります。その為にも日々仕訳の導入を強く要望いたします。

以上で、私の全ての質問を終了致します。ご清聴ありがとうございました。